Calendar Plus JavaScript API
リファレンス

ラジカルブリッジ

Ver.20261026

目次

変更履歴 3
イベント処理の記述方法 5
　イベント処理の概要 5
　イベントハンドラーを登録する 6
　特定のイベントタイプ内の特定のイベントハンドラーを削除する 8
　特定のイベントタイプ内のすべてのイベントハンドラーを削除する 9
　すべてのイベントハンドラーを削除する 10
カレンダー表示イベント 11
　カレンダー画面の描画後イベント 11
　イベントレコード描画時イベント 13
　クリック・ドラッグによる日付/時刻選択時イベント 14
　タイトル入力ダイアログからのイベントレコード新規保存前イベント 16
　タイトル入力ダイアログからのイベントレコード新規保存後イベント 18
　マウスドラッグによるイベントレコード更新前イベント 19
　マウスドラッグによるイベントレコード更新後イベント 20
　コンテキストメニューからのイベントレコード複製前イベント 21
　コンテキストメニューからのイベントレコード削除前イベント 22
　イベントレコードクリックによる詳細画面遷移前イベント 23
　イベントレコードのマウスオーバーイベント 24
　イベントレコードのマウスアウトイベント 25
event オブジェクトで実行できる操作 26
　フィールドの値を書き換える 26

メソッド 27
現在のカレンダービュー情報を取得する 27
カレンダーの表示形式を変更する 28
カレンダーの現在日付を取得する 29
カレンダー表示を任意の日付に移動する 30
カレンダーの日付を 1 単位戻す 31
カレンダーの日付を 1 単位進める 32
カレンダー表示を本日日付に移動する 33
イベントレコードを再読み込みしてカレンダーを再描画する 34
コンテキストメニューの表示／非表示を切り替える 35
コンテキストメニュー内の項目の表示／非表示を切り替える 36
リソース情報を取得する 37
現在のリソース値を取得する 38
リソースを切り替える 39
現在のリソース一覧を取得する 40
ルックアップ先レコード絞り込み項目情報を取得する 41
現在のルックアップ先レコード絞り込み項目の値を取得する 42
ルックアップ先リソースレコード絞り込み項目の値を切り替える 43
現在のグループ（ロール）選択項目の値を取得する 44
グループ（ロール）選択項目の値を切り替える 45
現在の組織選択項目の値を取得する 46
組織選択項目の値を切り替える 47

「カレンダーPlus」はラジカルブリッジの登録商標です。記載された商品名、各製品名は各社の登録商標または商標です。

変更履歴

Version	日付	変更内容
20190306	2019/3/6	初版
20190408	2019/4/8	■ マウスドラッグによるイベントレコード更新前イベント ■ コンテキストメニューからのイベントレコード複製前イベント ・event オブジェクトのプロパティの record オブジェクトの説明を修正。 ・event オブジェクトのプロパティに record-original オブジェクトを追加。
20200127	2020/1/27	■ イベント処理の概要 ・イベントハンドラーの登録タイミングやモバイル版で動作させるための説明を追記。 ■ イベントハンドラー登録のサンプルプログラム ・モバイルで動作させるための記述内容に変更。
20200410	2020/4/10	■ マウスドラッグによるイベントレコード更新前イベント ・コンテキストメニューからの色変更時にもこのイベントが発生することを追記。
20210120	2021/1/20	■ タイトル入力ダイアログからのイベントレコード新規保存前イベント ・event オブジェクトのプロパティの record オブジェクトの説明を修正。 ■ コンテキストメニューからのイベントレコード複製前イベント ■ コンテキストメニューからのイベントレコード削除前イベント ■ イベントレコードのマウスオーバーイベント ■ イベントレコードのマウスアウトイベント ・モバイルではこれらのイベントが発生する操作が無いことを追記。
20210225	2021/2/25	■ 各イベントの event オブジェクトに type プロパティが含まれることを明示。 ■ クリック・ドラッグによる日付/時刻選択時イベント を追加

		■ タイトル入力ダイアログからのイベントレコード新規保存後イベント を追加 ■ マウスドラッグによるイベントレコード更新後イベント を追加 ■ メソッド の項目を追加
20210524	2021/5/24	■ リソース情報を取得する ・関数名が誤っていたため修正。 calendarplus.view.getResourceInfo(); --> calendarplus.view.getResourcesInfo(); ■ クリック・ドラッグによる日付/時刻選択時イベント ・「event オブジェクトで実行できる操作」に「フィールドの値を書き換える」を追記。
20211029	2021/10/29	■ コンテキストメニューからのイベントレコード複製前イベント ■ コンテキストメニューからのイベントレコード削除前イベント ・モバイルではこれらのイベントが発生する操作が無いと記述していた部分を、iOS のみに限定。 ■ コンテキストメニュー内の項目の表示／非表示を切り替える ・関数の引数部分が誤っていたため修正。
20240415	2024/4/15	■ コンテキストメニュー内の項目の表示／非表示を切り替える ・引数 itemName に指定する値として「detail（詳細表示の項目）」を追加。
20261026	2026/10/26	■ 現在のリソース一覧を取得する ・「リソースをグループ化する機能」の追加により、返り値のプロパティとして parentId を追加。

イベント処理の記述方法

イベント処理の概要

カレンダーPlus で発生する様々なイベントについて、ハンドラーを紐付けして実行することができます。

※ カレンダーPlus のイベントハンドラーは、カレンダーPlus がロードされてから登録する必要があるため、kintone JavaScript API の「レコード一覧画面の表示後イベント」内で登録してください。

※ PC 版、モバイル版両方で Calendar Plus JavaScript API を動作させる場合は、kintone JavaScript API の「レコード一覧画面の表示後イベント」は、PC 用・スマートフォン用の両方を指定してください。

イベントハンドラーを登録する

関数

calendarplus.events.on(eventType, handler(event));

プロパティ

パラメータ名	指定する値	必須	説明
eventType	文字列 または 文字列の配列	必須	イベントハンドラーをバインドする対象のイベントタイプ、またはイベントタイプの配列を指定します。
handler(event)	Function(Object)	必須	イベント発生時に実行されるハンドラーです。event オブジェクトは共通で type プロパティにイベントタイプを持ちます。 下記のイベントのハンドラー内で kintone.Promise オブジェクト※ を return すると、非同期処理の実行を待ってイベントの処理を開始します。また、false を return すると、後続の処理をキャンセルできます。 ・タイトル入力ダイアログからのイベントレコード新規保存前イベント ・マウスドラッグによるイベントレコード更新前イベント ・コンテキストメニューからのイベントレコード複製前イベント ・コンテキストメニューからのイベントレコード削除前イベント ・イベントレコードクリックによる詳細画面遷移前イベント ※kintone.Promise オブジェクトは、then メソッドを持っているオブジェクトです。 ▼参考(外部サイト) https://developer.mozilla.org/ja/docs/Web/JavaScript/Reference/Global_Objects/Promise

戻り値

ありません

サンプルプログラム

```
// イベントハンドラーの登録を実行する
var handler = function(event) {
    console.log(event);
};
kintone.events.on(['app.record.index.show', 'mobile.app.record.index.show'], function(e) {
    calendarplus.events.on('cp.calendar.show', handler);
});
```

特定のイベントタイプ内の特定のイベントハンドラーを削除する

関数

calendarplus.events.off(eventType, handler(event));

プロパティ

パラメータ名	指定する値	必須	説明
eventType	文字列 または 文字列の配列	必須	削除対象のイベントハンドラーを登録したイベントタイプ、またはイベントタイプの配列を指定します。
handler(event)	Function(Object)	必須	削除対象のイベントハンドラーです。 イベント登録時と同一のオブジェクトを指定します。

戻り値

・true：一つでも削除に成功した場合

・false：削除対象のイベントハンドラーが 1 つも見つからなかった場合

サンプルプログラム

```
// イベントハンドラーの削除を実行する
var handler = function(event) {
    console.log(event);
};
calendarplus.events.off('cp.calendar.show', handler);
```

特定のイベントタイプ内のすべてのイベントハンドラーを削除する

関数

calendarplus.events.off(eventType);

プロパティ

パラメータ名	指定する値	必須	説明
eventType	文字列 または 文字列の配列	必須	削除対象のイベントハンドラーを登録したイベントタイプ、またはイベントタイプの配列を指定します。

戻り値

・true：一つでも削除に成功した場合

・false：削除対象のイベントハンドラーが 1 つも見つからなかった場合

サンプルプログラム

```
// イベントハンドラーの削除を実行する
calendarplus.events.off('cp.calendar.show');
```

すべてのイベントハンドラーを削除する

関数

calendarplus.events.off();

戻り値

・true：一つでも削除に成功した場合

・false：削除対象のイベントハンドラーが 1 つも見つからなかった場合

カレンダー表示イベント

カレンダー画面の描画後イベント

カレンダー画面の描画終了後に発生するイベントです。

・表示対象の日付範囲切り替え時や月別・週別・日別表示の切り替え時にもイベントが発生します。

※2019/3/6 現在、ドラッグ&ドロップによるイベントレコード更新時には当イベントが 2 回発生します。

イベントタイプ

cp.calendar.show

event オブジェクトのプロパティ

プロパティ名	型	説明
view	オブジェクト	表示中のカレンダービューに関する情報を保持した FullCalendar の View オブジェクトです。詳細は参考サイトを参照してください。 ▼参考(外部サイト) https://fullcalendar.io/docs
type	文字列	イベントタイプ

event オブジェクトで実行できる操作

ありません。

サンプルプログラム

```
kintone.events.on('app.record.index.show', function(e) {
    calendarplus.events.on('cp.calendar.show', function(event) {
        alert("カレンダーが表示されました");
    });
});
```

イベントレコード描画時イベント

各イベントレコードの描画時に発生するイベントです。

イベントタイプ

cp.event.show

event オブジェクトのプロパティ

プロパティ名	型	説明
record	オブジェクト	レコードオブジェクト
view	オブジェクト	表示中のカレンダービューに関する情報を保持した FullCalendar の View オブジェクトです。詳細は参考サイトを参照してください。 ▼参考(外部サイト) https://fullcalendar.io/docs
element	オブジェクト	描画されたイベントレコードの jQuery 要素です。
type	文字列	イベントタイプ

event オブジェクトで実行できる操作

ありません。

クリック・ドラッグによる日付/時刻選択時イベント

カレンダー画面上で日付・時刻を選択した時に発生するイベントです。

・ false を return すると後続の処理（タイトル入力ダイアログの表示または kintone 標準追加画面への画面遷移）をキャンセルできます。

イベントタイプ

cp.event.create.select

event オブジェクトのプロパティ

プロパティ名	型	説明
record	オブジェクト	登録用レコードオブジェクト ※レコード登録に必要な最低限のフィールド（開始日時、終了日時、終日、タイトル）のみが含まれます。（リソース別表示からの登録の場合、リソース情報も含みます。）
jsEvent	オブジェクト	クリック時のマウス座標などを保持した JavaScript のオブジェクトです。
view	オブジェクト	表示中のカレンダービューに関する情報を保持した FullCalendar の View オブジェクトです。詳細は参考サイトを参照してください。 ▼参考(外部サイト) https://fullcalendar.io/docs
type	文字列	イベントタイプ

event オブジェクトで実行できる操作

フィールドの値を書き換える。

サンプルプログラム

```
kintone.events.on('app.record.index.show', function(e) {
    calendarplus.events.on('cp.event.create.select', function(event) {
        var startDate = event.record['開始日時']['value'];
        console.log(startDate);
        return event;
    });
});
```

タイトル入力ダイアログからのイベントレコード新規保存前イベント

タイトル入力ダイアログからの新規イベントレコード保存前に発生するイベントです。

・false を return すると保存処理をキャンセルできます。

・kintone.Promise オブジェクトを return すると、非同期処理の実行を待ってイベントの処理を開始します。

イベントタイプ

cp.event.create.submit

event オブジェクトのプロパティ

プロパティ名	型	説明
record	オブジェクト	登録用レコードオブジェクト ※レコード登録に必要な最低限のフィールド（開始日時、終了日時、終日、タイトル）のみが含まれます。（リソース別表示からの登録の場合、リソース情報も含みます。）
type	文字列	イベントタイプ

event オブジェクトで実行できる操作

フィールドの値を書き換える

サンプルプログラム

```
kintone.events.on('app.record.index.show', function(e) {
    calendarplus.events.on('cp.event.create.submit', function(event) {
        var title = event.record['タイトル']['value'];
        console.log(title);
        return event;
    });
});
```

タイトル入力ダイアログからのイベントレコード新規保存後イベント

タイトル入力ダイアログからの新規イベントレコード保存後に発生するイベントです。

・false を return するとイベントレコードの再読み込みとカレンダーの再描画をキャンセルできます。

・kintone.Promise オブジェクトを return すると、非同期処理の実行を待ってイベントの処理を開始します。

イベントタイプ

cp.event.create.submit.success

event オブジェクトのプロパティ

プロパティ名	型	説明
record	オブジェクト	登録用レコードオブジェクト ※レコード登録に必要な最低限のフィールド（開始日時、終了日時、終日、タイトル）のみが含まれます。（リソース別表示からの登録の場合、リソース情報も含みます。）
recordId	文字列	レコード ID
revision	文字列	リビジョン
type	文字列	イベントタイプ

event オブジェクトで実行できる操作

ありません

マウスドラッグによるイベントレコード更新前イベント

マウスドラッグによるイベントレコードの日時やリソースの更新前に発生するイベントです。

※コンテキストメニューからの色変更による色分けフィールドの更新前にもこのイベントが発生します。

・false を return すると更新処理をキャンセルできます。

・kintone.Promise オブジェクトを return すると、非同期処理の実行を待ってイベントの処理を開始します。

イベントタイプ

cp.event.edit.submit

event オブジェクトのプロパティ

プロパティ名	型	説明
record	オブジェクト	変更対象フィールドのみが含まれる更新用レコードオブジェクト ※任意のフィールドに独自の値をセットして更新する場合は、適宜フィールドを追加してください。
record-original	オブジェクト	変更前のレコードオブジェクト
recordId	数値	レコード ID
type	文字列	イベントタイプ

event オブジェクトで実行できる操作

フィールドの値を書き換える

マウスドラッグによるイベントレコード更新後イベント

マウスドラッグによるイベントレコードの日時やリソースの更新後に発生するイベントです。

※コンテキストメニューからの色変更による色分けフィールドの更新後にもこのイベントが発生します。

・false を return するとイベントレコードの再読み込みとカレンダーの再描画をキャンセルできます。

・kintone.Promise オブジェクトを return すると、非同期処理の実行を待ってイベントの処理を開始します。

イベントタイプ

cp.event.edit.submit.success

event オブジェクトのプロパティ

プロパティ名	型	説明
record	オブジェクト	変更対象フィールドのみが含まれる更新用レコードオブジェクト
record-original	オブジェクト	変更前のレコードオブジェクト
recordId	文字列	レコード ID
revision	文字列	リビジョン
type	文字列	イベントタイプ

event オブジェクトで実行できる操作

ありません

コンテキストメニューからのイベントレコード複製前イベント

イベントレコードのコンテキストメニューから「複製」を選択してレコードを複製する前に発生するイベントです。

・false を return すると複製処理をキャンセルできます。

・kintone.Promise オブジェクトを return すると、非同期処理の実行を待ってイベントの処理を開始します。

・iOS ではこのイベントが発生する操作はありません。

イベントタイプ

cp.event.duplicate.submit

event オブジェクトのプロパティ

プロパティ名	型	説明
record	オブジェクト	登録用レコードオブジェクト　※複製元のレコードオブジェクトから以下のフィールドを除外しています。 ① kintone REST API で登録できないフィールドタイプ レコード番号、レコード ID、リビジョン、作成者、作成日時、更新者、更新日時、カテゴリー、ステータス、作業者 ② 添付ファイルフィールド ③ リソースとして設定されていないルックアップフィールド ④ 添付ファイルフィールドやルックアップフィールドが含まれるサブテーブル
record-original	オブジェクト	複製元のレコードオブジェクト
recordId	数値	レコード ID
type	文字列	イベントタイプ

event オブジェクトで実行できる操作

フィールドの値を書き換える

コンテキストメニューからのイベントレコード削除前イベント

イベントレコードのコンテキストメニューから「削除」を選択してレコードを削除する前に発生するイベントです。

・false を return すると削除処理をキャンセルできます。

・kintone.Promise オブジェクトを return すると、非同期処理の実行を待ってイベントの処理を開始します。

・iOS ではこのイベントが発生する操作はありません。

イベントタイプ

cp.event.delete.submit

event オブジェクトのプロパティ

プロパティ名	型	説明
record	オブジェクト	レコードオブジェクト
recordId	数値	レコード ID
type	文字列	イベントタイプ

event オブジェクトで実行できる操作

ありません。

イベントレコードクリックによる詳細画面遷移前イベント

イベントレコードをクリックして詳細画面に遷移する前に発生するイベントです。

・false を return すると画面遷移をキャンセルできます。

イベントタイプ

cp.event.click

event オブジェクトのプロパティ

プロパティ名	型	説明
record	オブジェクト	レコードオブジェクト
jsEvent	オブジェクト	クリック時のマウス座標などを保持した JavaScript のオブジェクトです。
view	オブジェクト	表示中のカレンダービューに関する情報を保持した FullCalendar の View オブジェクトです。詳細は参考サイトを参照してください。 ▼参考(外部サイト) https://fullcalendar.io/docs
type	文字列	イベントタイプ

event オブジェクトで実行できる操作

ありません。

イベントレコードのマウスオーバーイベント

イベントレコードにマウスオーバーした時に発生するイベントです。

・モバイル版表示ではこのイベントが発生する操作はありません。

イベントタイプ

cp.event.mouseover

event オブジェクトのプロパティ

プロパティ名	型	説明
record	オブジェクト	レコードオブジェクト
jsEvent	オブジェクト	マウスオーバー時のマウス座標などを保持した JavaScript のオブジェクトです。
view	オブジェクト	表示中のカレンダービューに関する情報を保持した FullCalendar の View オブジェクトです。詳細は参考サイトを参照してください。 ▼参考(外部サイト) https://fullcalendar.io/docs
type	文字列	イベントタイプ

event オブジェクトで実行できる操作

ありません。

イベントレコードのマウスアウトイベント

イベントレコードからマウスアウトした時に発生するイベントです。

・モバイル版表示ではこのイベントが発生する操作はありません。

イベントタイプ

cp.event.mouseout

event オブジェクトのプロパティ

プロパティ名	型	説明
record	オブジェクト	レコードオブジェクト
jsEvent	オブジェクト	マウスアウト時のマウス座標などを保持した JavaScript のオブジェクトです。
view	オブジェクト	表示中のカレンダービューに関する情報を保持した FullCalendar の View オブジェクトです。詳細は参考サイトを参照してください。 ▼参考(外部サイト) https://fullcalendar.io/docs
type	文字列	イベントタイプ

event オブジェクトで実行できる操作

ありません。

event オブジェクトで実行できる操作

フィールドの値を書き換える

ハンドラーが record オブジェクトのフィールドの値を書き換えて event オブジェクトを return した場合、その値でフィールドの値を更新します。

・最後のハンドラーが return しない場合、フィールドの値を更新しません。

・複数のハンドラーが登録されている場合、最後のハンドラーが return した戻り値を基準に反映されます。

・その他注意事項・制限事項は、kintone REST API の制限事項（共通仕様の制限事項、レコードの登録（1 件）、レコードの更新（1 件））に準じます。

▼参考(外部サイト)

https://developer.cybozu.io/hc/ja/articles/201941754

サンプルプログラム

```
kintone.events.on('app.record.index.show', function(e) {
    calendarplus.events.on('cp.event.create.submit', function(event) {
        event.record['タイトル']['value'] = '初期タイトル';
        return event;
    });
});
```

メソッド

現在のカレンダービュー情報を取得する

現在表示中のカレンダーのビュー情報を取得します。

関数

calendarplus.view.getViewInfo();

引数

なし

返り値

現在のカレンダービュー情報を保持したオブジェクト

```
{
  'type': 表示形式,
  'start': カレンダーの表示開始日付/日時
  'end': カレンダーの表示終了日付/日時
}
```

カレンダーの表示形式を変更する

カレンダーの表示形式を変更します。

関数

calendarplus.view.changeView(viewType);

引数

パラメータ名	指定する値	必須	説明
viewType	文字列	必須	表示形式を表す以下のいずれかの値を指定します。 month, agendaWeek, agendaDay, timelineYear, timelineMonth, timelineWeek, timelineDay month: [月]表示 agendaWeek: [週]表示 agendaDay: [日]表示 timelineYear: [#年]表示 timelineMonth: [#月]表示 timelineWeek: [#週]表示 timelineDay: [#日]表示

返り値

なし

カレンダーの現在日付を取得する

カレンダーの現在日付を取得します。

関数

calendarplus.view.getDate();

引数

なし

返り値

ISO 8601 形式の日時文字列

カレンダー表示を任意の日付に移動する

カレンダーの表示日付を変更します。

※[#年]表示でこのメソッドを使用した場合、その日付が含まれる年が表示されるだけで、指定した日付まで横スクロール移動するわけではありません。

関数

calendarplus.view.gotoDate(date);

引数

パラメータ名	指定する値	必須	説明
date	文字列 （ISO 8601 形式）	必須	移動先の日付を ISO 8601 形式で指定します。

返り値

なし

カレンダーの日付を 1 単位戻す

カレンダーの日付を 1 単位戻します。

（月表示であれば前月、週表示であれば前週、日表示であれば前日に移動します。）

関数

calendarplus.view.prev();

引数

なし

返り値

なし

カレンダーの日付を 1 単位進める

カレンダーの日付を 1 単位進めます。

（月表示であれば翌月、週表示であれば翌週、日表示であれば翌日に移動します。）

関数

calendarplus.view.next();

引数

なし

返り値

なし

カレンダー表示を本日日付に移動する

カレンダーの表示日付を本日の日付にします。

関数

calendarplus.view.today();

引数

なし

返り値

なし

イベントレコードを再読み込みしてカレンダーを再描画する

カレンダーの表示内容を最新の状態にします。

関数

calendarplus.view.refetchEvents();

引数

なし

返り値

なし

コンテキストメニューの表示／非表示を切り替える

コンテキストメニューの表示／非表示を切り替えます。

関数

calendarplus.view.setContextMenuShown(isShown);

引数

パラメータ名	指定する値	必須	説明
isShown	真偽値	必須	コンテキストメニューを表示する場合は「true」を指定します。 コンテキストメニューを非表示にする場合は「false」を指定します。

返り値

なし

コンテキストメニュー内の項目の表示／非表示を切り替える

コンテキストメニュー内の項目の表示／非表示を切り替えます。

関数

calendarplus.view.setContextMenuItemShown(itemName, isShown);

引数

パラメータ名	指定する値	必須	説明
itemName	文字列	必須	表示／非表示を切り替える対象を以下の値で指定します。 color, detail, edit, duplicate, delete color：色変更の項目 detail：詳細表示の項目 edit：編集の項目 duplicate：複製の項目 delete：削除の項目
isShown	真偽値	必須	itemName で指定した項目を表示する場合は「true」を指定します。 itemName で指定した項目を非表示にする場合は「false」を指定します。

返り値

なし

リソース情報を取得する

リソースの一覧を取得します。

関数

calendarplus.view.getResourcesInfo();

引数

なし

返り値

リソース情報を表すオブジェクト配列

```
[
  {
    'value': リソース値,
    'label': リソースラベル
  }
]
```

現在のリソース値を取得する

現在選択中のリソースの値を取得します。

関数

calendarplus.view.getResourceValue();

引数

なし

返り値

リソース値（文字列）

リソースを切り替える

表示するリソースの選択を切り替えます。

関数

calendarplus.view.changeResource(resourceValue);

引数

パラメータ名	指定する値	必須	説明
resourceValue	文字列	必須	切り替え先のリソース値を指定します。

返り値

なし

現在のリソース一覧を取得する

現在選択中のリソース一覧情報を取得します。

関数

calendarplus.view.getResourceRecords();

引数

なし

返り値

リソース一覧情報

```
[
  {
    'id': リソース ID,
    'title': リソースタイトル,
    'recordId': ルックアップ先レコード ID,          // 現在選択中のリソースがルックアップフィールドの場合のみ存在します。
    'parentId': 親グループ ID※                     // グループ化されているリソースのみに存在します。
  }
]

※グループ化のフィールド値が "sample1" の場合、"__group__:sample1"
```

ルックアップ先レコード絞り込み項目情報を取得する

ルックアップ先レコード絞り込み項目の一覧情報を取得します。

関数

calendarplus.view.getRelatedRecordsFilterInfo();

引数

なし

返り値

絞り込み項目情報

```
[
  {
    'value': 絞り込みの値,
    'label': 絞り込みのラベル
  }
]
```

現在のルックアップ先レコード絞り込み項目の値を取得する

現在のルックアップ先レコード絞り込み項目の値を取得します。

関数

calendarplus.view.getRelatedRecordsFilterValue();

引数

なし

返り値

絞り込みの値

ルックアップ先リソースレコード絞り込み項目の値を切り替える

ルックアップ先レコード絞り込み項目の値を切り替えます。

関数

calendarplus.view.changeRelatedRecords(filterValue);

引数

パラメータ名	指定する値	必須	説明
filterValue	文字列	必須	絞り込みの値を指定します。

返り値

なし

現在のグループ（ロール）選択項目の値を取得する

現在選択中のグループ（ロール）のグループコードを取得します。

関数

calendarplus.view.getGroupCode();

引数

なし

返り値

グループコード

グループ（ロール）選択項目の値を切り替える

グループ（ロール）の選択を切り替えます。

関数

calendarplus.view.changeGroup(groupCode);

引数

パラメータ名	指定する値	必須	説明
groupCode	文字列	必須	表示するグループコードを指定します。

返り値

なし

現在の組織選択項目の値を取得する

現在選択中の組織の組織コードを取得します。

関数

calendarplus.view.getOrganizationCode();

引数

なし

返り値

組織コード

組織選択項目の値を切り替える

組織の選択を切り替えます。

関数

calendarplus.view.changeOrganization(organizationCode);

引数

パラメータ名	指定する値	必須	説明
organizationCode	文字列	必須	表示する組織コードを指定します。

返り値

なし